



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9006 URL <https://www.keikyu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 原田 一之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 秋山 進一 (TEL) 045-225-9390  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け/電話会議のみ)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	169,087	△29.3	△13,902	—	△15,316	—	△19,841	—
2020年3月期第3四半期	239,159	0.6	28,057	△5.9	26,338	△5.7	17,093	△11.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △18,715百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 16,289百万円(△13.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△72.07	—
2020年3月期第3四半期	62.07	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	933,798	246,554	26.3
2020年3月期	888,412	267,655	30.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 245,722百万円 2020年3月期 266,643百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	234,300	△25.1	△21,700	—	△24,300	—	△25,300	—	△91.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	275,760,547株	2020年3月期	275,760,547株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	489,462株	2020年3月期	374,623株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	275,328,504株	2020年3月期3Q	275,387,236株

（注）自己株式に含めている役員報酬信託口が保有する当社株式数は、以下のとおりです。

2021年3月期第3四半期 113,100株      2020年3月期 一株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手について）

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気が依然として厳しい状況で推移しており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業は、5月の緊急事態宣言解除後、鉄道輸送人員などで一部持ち直しの動きも見られましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う外出の自粛等により、交通事業およびレジャー・サービス事業を中心に甚大な影響を受けました。このような厳しい事業環境のなか、当社グループは、すべての事業において、お客さまと従業員の感染防止対策を行いながら、安全・安心の徹底のもと、サービスの提供の維持に努めました。

以上の結果、営業収益は1,690億8千7百万円（前年同期比29.3%減）、営業損失は139億2百万円（前年同期は営業利益280億5千7百万円）、経常損失は153億1千6百万円（前年同期は経常利益263億3千8百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は198億4千1百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益170億9千3百万円）となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

## 交通事業

鉄道事業およびバス事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出の自粛や航空旅客の減少等の影響を受け、輸送人員が大幅に減少したことなどにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は593億4千1百万円（前年同期比37.0%減）、営業損失は156億8千万円（前年同期は営業利益138億8千7百万円）となりました。

## 不動産事業

不動産販売業では、京急不動産㈱は、分譲マンション「プライム葉山」の販売および引渡し为好調に推移しましたが、前期の大型分譲マンション引渡しの反動などにより減収となりました。

不動産賃貸業では、品川駅周辺開発事業の進捗に伴い一部賃貸ビルにおいて店舗の営業が終了したほか、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う店舗休業等の影響を受け、賃料収入が減少したことなどにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は266億6千1百万円（前年同期比31.2%減）、営業利益は33億8千6百万円（前年同期比39.1%減）となりました。

## レジャー・サービス事業

ビジネスホテル業では、当社は、「京急 EXイン 東京・日本橋」および「京急 EXイン 羽田イノベーションシティ」を開業しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う宿泊客の減少により減収となりました。

レジャー関連施設業では、京急開発㈱は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休業および営業時間短縮の影響を受け、減収となりました。

以上の結果、営業収益は167億8千万円（前年同期比43.9%減）、営業損失は22億9千5百万円（前年同期は営業利益56億1千2百万円）となりました。

#### 流通事業

百貨店業では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休業および営業時間短縮の影響を受け、減収となりました。

スーパーマーケット業では、内食需要の増加や新店開業の影響はあったものの、店舗の閉店や耐震補強工事に伴うテナント休業などにより、減収となりました。

コンビニエンスストア・物品販売業では、駅ナカ店舗を中心に、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う鉄道輸送人員の減少、臨時休業および営業時間短縮の影響を受け、減収となりました。

以上の結果、営業収益は659億7千5百万円（前年同期比13.9%減）、営業利益は2億1千3百万円（前年同期比90.5%減）となりました。

#### その他

京急建設㈱は、前期の大型工事の反動などにより、減収となりました。

以上の結果、営業収益は261億6百万円（前年同期比25.0%減）、営業利益は7億1千8百万円（前年同期比42.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を踏まえ、流動性資金確保のための借入等に伴う現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ453億8千5百万円増加しました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少はありましたが、有利子負債の増加などにより、前連結会計年度末と比べ664億8千7百万円増加しました。

また、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上などにより、前連結会計年度末と比べ211億1百万円減少しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期業績予想について、第3四半期までの業績等を踏まえ見直しを行った結果、前回予想（2020年11月11日公表）を修正しておりますので、本日公表の「2021年3月期第3四半期 決算補足説明資料」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,555	84,117
受取手形及び売掛金	12,591	9,740
商品及び製品	2,532	2,657
分譲土地建物	41,016	45,727
仕掛品	799	2,835
原材料及び貯蔵品	331	343
その他	8,475	9,460
貸倒引当金	△123	△123
流動資産合計	101,179	154,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	336,260	329,270
機械装置及び運搬具（純額）	45,667	40,345
土地	186,411	187,733
建設仮勘定	84,915	85,271
その他（純額）	8,829	8,179
有形固定資産合計	662,085	650,800
無形固定資産	7,390	7,292
投資その他の資産		
投資有価証券	68,051	70,211
長期貸付金	689	692
繰延税金資産	6,506	6,421
退職給付に係る資産	19,192	20,487
その他	23,469	23,286
貸倒引当金	△153	△153
投資その他の資産合計	117,756	120,946
固定資産合計	787,232	779,039
資産合計	888,412	933,798

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,126	17,336
短期借入金	121,224	120,645
コマーシャル・ペーパー	—	20,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	3,602	662
前受金	7,996	12,548
賞与引当金	1,615	739
役員賞与引当金	104	—
災害損失引当金	290	—
その他の引当金	63	15
その他	31,622	31,858
流動負債合計	209,646	213,806
固定負債		
社債	110,000	145,000
長期借入金	203,511	232,120
繰延税金負債	6,622	439
役員退職慰労引当金	437	401
退職給付に係る負債	10,895	11,880
長期前受工事負担金	62,075	63,260
解体費用引当金	—	4,520
その他	17,566	15,815
固定負債合計	411,109	473,437
負債合計	620,756	687,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,158	44,158
利益剰余金	172,144	150,099
自己株式	△660	△838
株主資本合計	259,381	237,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,906	10,468
為替換算調整勘定	135	△32
退職給付に係る調整累計額	△1,779	△1,872
その他の包括利益累計額合計	7,261	8,563
非支配株主持分	1,012	832
純資産合計	267,655	246,554
負債純資産合計	888,412	933,798

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
営業収益	239,159	169,087
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	182,296	156,104
販売費及び一般管理費	28,805	26,885
営業費合計	211,101	182,990
営業利益又は営業損失(△)	28,057	△13,902
営業外収益		
受取利息	57	66
受取配当金	809	592
持分法による投資利益	501	179
助成金収入	—	788
その他	502	616
営業外収益合計	1,871	2,243
営業外費用		
支払利息	3,120	3,116
その他	469	540
営業外費用合計	3,589	3,657
経常利益又は経常損失(△)	26,338	△15,316
特別利益		
工事負担金等受入額	620	1,689
災害損失引当金戻入額	—	290
固定資産売却益	253	159
その他	11	10
特別利益合計	885	2,149
特別損失		
減損損失	312	5,544
解体費用引当金繰入額	—	4,520
固定資産圧縮損	620	1,689
臨時休業による損失	—	311
投資有価証券評価損	—	151
固定資産除却損	614	132
支払補償費	743	59
その他	14	8
特別損失合計	2,306	12,416
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	24,917	△25,583
法人税、住民税及び事業税	7,589	1,056
法人税等調整額	277	△6,734
法人税等合計	7,866	△5,678
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,050	△19,905
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△43	△63
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	17,093	△19,841



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,050	△19,905
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△180	1,562
為替換算調整勘定	△53	△279
退職給付に係る調整額	△526	△92
その他の包括利益合計	△760	1,189
四半期包括利益	16,289	△18,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,338	△18,539
非支配株主に係る四半期包括利益	△48	△175

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の影響により、鉄道事業やバス事業における旅客輸送人員の減少、レジャー・サービス事業におけるビジネスホテルの稼働率低下、流通事業における施設の休業および時間短縮による収入の減少など、当社グループ全体の業績に大きな影響を与えております。今後の影響や収束時期などを予測することは困難であり、会計上の見積りを行う上で、特に将来キャッシュ・フローについて客観性のある情報に基づき予測を行うことは極めて困難であります。

このため、繰延税金資産の回収可能性や減損損失の判定などについては、翌連結会計年度第2四半期まで影響が継続するとの一定の仮定のもと、最善の見積りを会計処理に反映しております。

## (セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	92,543	33,604	25,456	75,624	11,931	239,159	—	239,159
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,590	5,136	4,440	1,008	22,867	35,042	△35,042	—
計	94,133	38,741	29,896	76,632	34,798	274,201	△35,042	239,159
セグメント利益	13,887	5,560	5,612	2,249	1,252	28,562	△504	28,057

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	57,971	22,532	13,994	64,679	9,908	169,087	—	169,087
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,370	4,128	2,785	1,295	16,197	25,778	△25,778	—
計	59,341	26,661	16,780	65,975	26,106	194,866	△25,778	169,087
セグメント利益又は損失(△)	△15,680	3,386	△2,295	213	718	△13,658	△244	△13,902

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて3,109百万円、「レジャー・サービス事業」セグメントにおいて2,435百万円の減損損失をそれぞれ計上しております。